

公益社団法人日本動物学会 2021年度第3回理事会 議事録

1. 開催された日時 2021年10月14日(木)14時30分～

2. 開催された場所 ZOOMにより実施

3. 理事総数及び定足数

総数 23名 定足数 12名

4. 出席理事数 19名

(出席) 増田隆一・田村宏治・出口竜作・兵藤 晋・加藤尚志・沓掛磨也子・稲葉一男・蟻川謙太郎・神田真司・柴小菊・吉田薫・鈴木信雄・阿部秀樹・寺北明久・日下部岳広・富岡憲治・彦坂暁・吉田将之・広瀬裕一

(欠席) 小川宏人・深津武馬・浅見崇比呂・岡田二郎

(監事出席) 八杉貞雄、高橋 洋

理事出席者 19名、監事2名の出席を得て、理事会は成立となった。議長は、稲葉一男理事。議事録署名人は、定款35条2項により、会長、八杉貞雄、高橋 洋 両監事。

5. 報告事項

新事務局長の紹介

稲葉会長より、10月1日から事務局長として着任された佐藤優子氏の紹介と、今後佐藤事務局長と永井前事務局長の補助による事務局体制となるという変更に関する報告が行われた。佐藤事務局長からの自己紹介と、出席理事・監事から自己紹介が行われた。

国際交流セミナーの開催形式について

鈴木国際交流担当理事より、次回大会時に併催される国際交流セミナーの計画について報告があった。過去に何らかの形で30万円程度を上限とする旅費支援が行われていたことが前事務局長から確認され、次回の国際交流セミナーでも支援が行われることについて、理事の反対意見はなかった。捻出する予算枠については、時期がきたら会計担当理事と相談の上決定することも確認された。

また、今回は関東支部主催の大会となるため、プログラムに組み込むことを想定し、国際交流担当委員会で関東支部に所属する会員を大会プログラム委員に推薦したい旨が加藤理事・次期大会長へ依頼された。

6. 審議事項

第一号議案 川口四郎基金規程の見直しについて（資料1）

富岡賞担当理事より、事前に配布された川口四郎基金規程についての説明があった。本変更は、前回第2回理事会の議論に基づき賞担当理事を中心に作成された改案であり、漢字の修正のみ変更され、ほぼ原案通り承認された。

第二号議案 日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞 HP 掲載文（資料2）

富岡賞担当理事より、事前に配布された日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞 HP 掲載文についての説明があった。原案通り承認された。

次回（2021年度第4回理事会）は2021年12月にオンラインで開催する予定である。

2021年 10 月 17 日

上記の内容で相違ないことを証するため、ここに記名押印をする。

議長 稲葉 一男

議事録署名人 八杉 貞雄

議事録署名人 高橋 洋

公益社団法人日本動物学会 川口四郎基金の用途についての規定

平成 18 年 5 月 13 日理事会改定

平成 24 年 9 月 12 日理事会改定

令和 3 年 10 月 xx 日理事会改定

(名称) 第 1 条 川口四郎基金とする。

(川口四郎基金の管理) 第 2 条 公益社団法人 日本動物学会が管理する。

(川口四郎基金の用途) 第 3 条 1 動物学会大会開催時に外国より研究者を招聘し、講演会を行う。この講演会に関わる費用を支出する。2 動物学会会員の若手研究者が国際会議で発表するための支援(国際会議発表支援川口賞)として支出する。3 動物科学の発展と啓蒙に関わる出版事業の補助として支出する。4 動物学振興のための事業へ支出する。

(支出金額) 第 4 条 第 3 条 2 においては年間 30 万円以内とする。

(支出対象の選考) 第 5 条 第 3 条 2 は、学会賞等選考委員会において選考審議し、理事会の議を経て決定する。また、第 3 条 1, 3, 4 に関しては、共に理事会の審議を経て、支出を決定する。

第 6 条 川口四郎基金はその用途を定めた事業の 1 件にも満たない金額となった時点で解消し、理事会の議を経て、その残額は公益社団法人日本動物学会の流動資産の中に組み入れる。

第 7 条 この規程は平成 18 年 3 月 5 日より施行する。

日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞

日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞は、大場方子氏より頂いたご寄付を基に設立され、不安定な身分等の理由により研究を続けることが困難な状況にありながら、強い意志と高い志を持って優れた動物科学分野の研究を推進しようとする女性研究者を支援することを目的としています。本賞の OM は、大場方子氏のイニシャルに由来します。

男女共同参画社会基本法や女性活躍推進法の施行にもかかわらず、依然として、女性研究者がそれぞれの多様な生き方を選択し、能力を十分に発揮できる環境の実現には至っていません。日本動物学会は、本学会会員に限らず動物科学を研究するすべての女性研究者を対象に、この賞の公募を行います。

本賞は、原則として年間 2 名に授与され、受賞者には賞状と副賞として 50 万円が贈呈されます。